

生成AIをめぐる最新の状況

- 生成AIに代表されるAIは、世界的に技術革新が急激に進行
- 米国・中国・英国の主要国は本年、相次いでAI国家戦略を公表。政府の役割を明確化しつつ、科学技術、産業経済、政府・行政、軍事において覇権競争に勝ち抜く意思を明確化
- 企業も政府も、国内外問わず、AI導入はもはや必然であり、「如何にしてリスクを低減しつつ最大限にAIを利活用するか」というステージに突入
- また、人口減少による人手不足が深刻化する中、公共サービスを維持するためには、行政機関におけるAI利活用が不可欠
- 民間のAI投資を促すには、政府が率先して安全・安心なAIの積極的活用を実現する必要

- 
- AI法（人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律）が本年5月に成立。AI戦略本部の設置、AI基本計画の策定等を通じて「世界で最もAIを開発・活用しやすい国」を目指す。（第219回国会における高市内閣総理大臣所信表明演説）
 - 「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（本年6月閣議決定）で「ガバメントAI」の構築に向けた取組が提言。デジタル庁が政府で生成AI活用を先導する必要

政府におけるAI推進体制(2025.9～)

統合イノベーション戦略推進会議

議長:官房長官 議長代理:科技大臣 副議長:関係本部担当大臣 構成員:他の全国務大臣

人工知能戦略本部

根拠:AI法第19条

本部長:内閣総理大臣/副本部長:官房長官、人工知能戦略担当大臣

本部員:上記以外の全ての国務大臣

事務局:内閣府科学技術・イノベーション推進事務局(AI政策推進室)

- AIモデルの高性能化
- データ連携基盤の構築
- AIロボットの需要創出
- 信頼できるAI基盤モデル開発
- AI評価基盤、テストベッド整備
- 規制のサンドボックス制度

人工知能戦略推進会議(局長級)

根拠:本部決定

議長:人工知能戦略担当大臣

構成員:全府省庁 局長級

人工知能戦略専門調査会

根拠:本部決定(本部令第1条)

座長:松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科 教授

委員:産業界、学术界等から15名

主な関係省庁

デジタル庁

- 政府におけるAI活用推進
- ガバメントAIの推進
- AI利活用・調達ガイドライン策定
- データ連携基盤の構築

総務省

- 自治体におけるAI活用促進
- 国内事業者向けガイドライン
- 広島AIプロセスの推進
- 偽情報対策技術開発
- AI評価基盤、テストベッド整備

経済産業省

- 生成AIの国内開発力強化
- スタートアップ支援
- フィジカルAIの導入支援
- 偽情報対策技術開発
- 企業のAI基軸の経営改革

文部科学省

- 著作権とAIに関する検討
- 教育現場におけるAI利用

内閣府知財事務局

- 知的財産とAIに関する検討

国家サイバー統括室

- AIとサイバーセキュリティ

厚労省・金融庁・農水省・環境省・国交省・内閣府(防災)・防衛省・警察庁 等

- 医療・ヘルスケア、介護、金融、防災、環境保全、インフラ建設・管理、造船、公共交通、防衛力強化、警察活動等におけるAIの開発・実証・導入促進

(総合科学技術・イノベーション会議)

CSTI

知的財産戦略本部

健康・医療戦略推進本部

宇宙開発戦略本部

総合海洋政策本部

米国・中国・英国のAI政策

主要国は相次いでAIの国家戦略を策定。政府の役割を明確化し、AIの覇権競争に勝ち抜く意思を明確化

米国AIアクションプラン(2025年7月23日、ホワイトハウス)

- 連邦政府は、AIツールの活用により、より効率的・効果的に国民にサービスを提供する。
- AI調達ツールボックスを構築し、連邦全体での統一性を促進。どの連邦機関であってもプライバシーやデータ管理に注意しつつ、複数のAIモデルの中から選択できるようにする。
- それぞれの連邦機関は、目的に応じてAIのカスタマイズを行えるようにする。
- 連邦機関職員全員に対し、最先端のAIの利用と研修を確保することを義務付ける。

中国「AIを横断的に社会・経済へ統合する「AI+」の行動計画」(2025年8月26日、国務院)

- 国家方針として、AIを科学技術、産業、消費、民生、ガバナンス、国際協力の6大領域で「広範かつ深度ある統合」を図り、生産様式・生活様式を再設計し、「知能経済・知能社会」を形成する。
- 2030年までに、AIエージェントの普及率90%超をめざし、知能経済を重要な成長エンジンにする。
- 行政サービスの全過程の智能化を実現する。国家AIアプリ実証基地、国家共通プラットフォームを構築する。

英国「AI Opportunities Action Plan」(2025年1月、科学・イノベーション・技術省)

- AI用オープンガバメント・データセットを提供するためのガイドラインとベストプラクティスを開発
- 政府は、データ、スキル、人材、知的財産権、保証措置を強化する。
- インパクトある分野において、AIプロトタイプ開発のパイロット事業を実施、評価を行い、結果を公開する。
- ベストプラクティス指針、事例研究などを公開する「AIナレッジハブ」を政府に設置

ガバメントAIの実現に向けた施策

1. 政府が率先して安全・安心なAIの活用を進める。

- デジタル庁の**生成AI利用環境(源内)**を他府省庁に大規模展開
 - 政府職員が早期に生成AIを体験し、業務において利用できるようにする。
 - また、政府による活用をAIの社会実装の起点とするため、ガバメントAIの実装に向けた検証を実施。
- 生成AI利用に係る**政府全体のリスク管理体制の整備を進める。**
 - 「行政の進化と革新のための生成AIの調達・利活用に係るガイドライン」(25年5月)の運用・改定

2. 行政実務に役立つ高度な生成AIアプリを開発し、他府省庁に展開する。

- デジタル庁職員による内部開発、外部ベンダーへの委託開発により、政府共通のAIアプリケーションを創出。
例: 国会答弁作成支援AI、許認可審査支援AI、相談対応支援AIなど

3. 生成AIに学習させる政府保有データの整備・普及を進める。

例: 官報データ(78年分)、法令、白書など

4. その他ガバメントAI基盤の整備に向けた取組

- 生成AIに関する他省庁への技術支援(大量パブコメ意見のAI分類、闇バイト対策のためのAIによるSNS分析)
- 国内の大規模言語モデル(LLM)の積極的活用
- ガバメントAIに係る諸課題に関する官民連携フォーラムの形成、技術課題に対する標準化
- 地方公共団体の支援、源内やデジタルマーケットプレイス(DMP)を通じたAIアプリケーションの効率的配布
- 源内を利用する政府職員に対する生成AI利用研修

デジタル庁の生成AI利用環境「源内（げんない）」 職員の利用画面

≡

源内

デジタル庁生成AI検証環境

🏠

ホーム

🔍

GovAIリスト

💬

チャット

✍️

文章生成

📄

要約

🔍

校正

🌐

翻訳

🌐

ウェブコンテンツ抽出

🖼️

画像生成

📺

映像分析

📊

ダイアグラム生成

🔊

音声認識

🗨️

チャット履歴

ユースケースから使う

ユースケースから作る

おすすめGovAI（デジタル庁作成AIソリューション）

デジタル庁職員全員が利用できるGovAIのおすすめを紹介します。
その他のGovAIは[GovAIリスト](#)からご利用いただけます。

AI + ウェブ検索 (Gemini)

AIがウェブ検索を行い、最新ニュースなどを反映した回答を返します。長文入力にも強く、マニュアルや会話データの要約・整形、その内容に基づく回答も可能です。

法制度に関する調査（愛称: Lawsy）

法令Deep Researchツール Lawsy を使って、法令の調査を行うことができます。法令の条文を検索し、関連する法令や判例を参照しながら、法律に関する質問に答えることができます。

SEABISヘルプAI

SEABISのマニュアル・FAQを情報検索できるヘルプAIです。SEABISの操作方法などに関する質問に、マニュアルの内容を踏まえて回答します。

チャット

LLM とチャット形式で対話することができます。細かいユースケースや新しいユースケースに迅速に対応することができます。プロンプトエンジニアリングの検証用環境としても有効です。

文章生成

あらゆるコンテンツを作成することは、メールなどのタスクの1つに対応することができます。

国会答弁検索

入力した質問に関連する過去の政府答弁を、国会議事録の公式データベースから検索し、関連性の高いものを表示します。国会で問われる内容の調査や参考情報の取得に活用できます。

要約文体指定君

テキストデータを入力するだけで、自動的に内容を整理した上で、リストの中から指定された文体（スタイル）でわかりやすく要約するAIです。

EASYヘルプAI

電子決裁システムEASYのマニュアル・FAQを情報検索できるヘルプAIです。EASYの操作方法などに関する質問に、マニュアルの内容を踏まえて回答します。

校正

LLM は、誤字脱字のチェックだけでなく、文章の流れや内容を考慮したより客観的な視点から改善点を提案できます。人に見せる前にLLM に自分では気づかなかった点を客観的にチェックしてもらい、クオリティを上げる効果が期待できます。

フレックスタイム制ヘルプAI

人事院フレックスタイム制・デジタル庁非常勤向け説明QAを情報検索できるヘルプAIです。デジタル庁のフレックスタイム制に関する質問に回答します。

GitHub申請FAQ詳しいAI

デジタル庁のGitHub利用に関する質問に回答します。GitHub利用FAQを検索し、回答と併せて原文の該当箇所も示します。最新情報は必ず原文で確認してください。

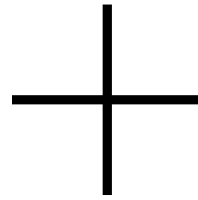
利用の多いユースケース

デジタル庁では全職員が
ポータル画面から生成AIを利用できる

汎用的なAIアプリ

- チャット(対話型AI)※
- 文章作成
- 要約
- 校正
- 翻訳
- 画像生成
- 映像分析
- ダイアグラム分析
- 音声認識
- プロンプト案の生成AI など

※2025年10月時点ではAWS社の「Nova Lite」、Anthropic社の「Claude4.5 Haiku、Claude4.5 Sonnet」の3モデルから職員が選択可能。今後、モデルの追加・更新を予定。



行政実務用のAIアプリ

- 法制度調査支援AI(愛称: Lawsy)
- 国会答弁検索AI
- 公用文チェッカーAI(文化庁「公用文作成の考え方」に準拠した校正を提供)
- 物品管理システムヘルプAI(マニュアル検索)
- 旅費等内部管理業務共通システム(SEABIS)のヘルプAI
- 電子決裁システム(EASY)ヘルプAI など

※デジタル庁職員が内製開発。

※職員が効率的・効果的に業務を進めることができるよう、目的・用途ごとに構築された特化型のAI。

※2025年8月8日時点では20種類の行政実務用に特化したAIが利用可能。今後も追加予定。

デジタル庁内では、源内の利用状況をダッシュボードで確認可能

源内利用状況モニタリング (2025-10-13週末時点)

※ デジタル庁内全体での源内利用は2025/5/7から
※ 画面は庁内専用であり、外部からのアクセスはできません。

年月を選択

複数選択

☒ 2025年07月

☒ 2025年06月

☒ 2025年05月

☐ 2025年04月

☐ 2025年03月

☒ 国民G

☒ 省庁G

☒ ユニット所属

ユースケースを選択

☐ general

☐ GovAI

個別ユースケースを選択

検索

☐ すべて選択

☐ チャット

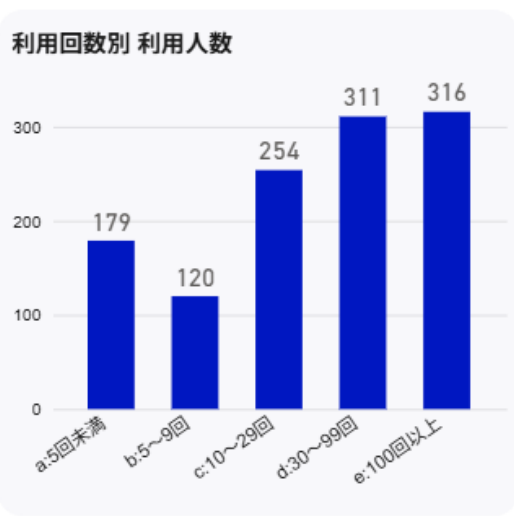
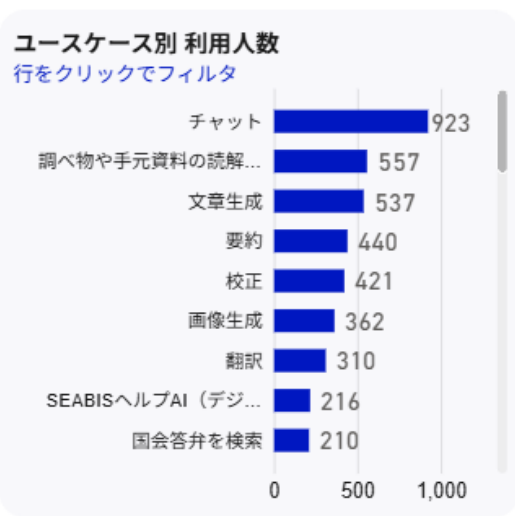
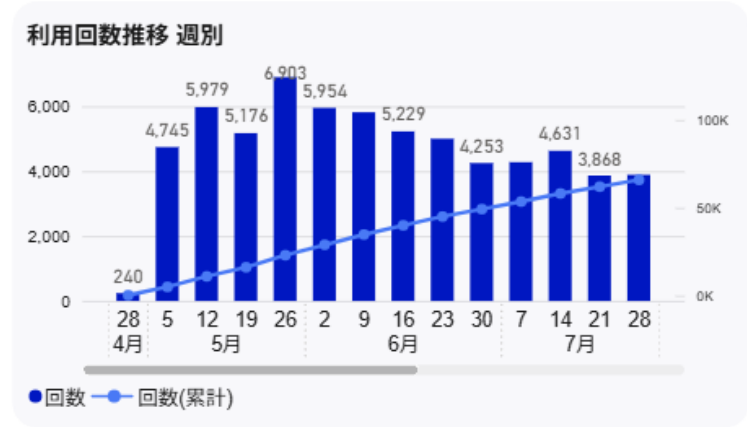
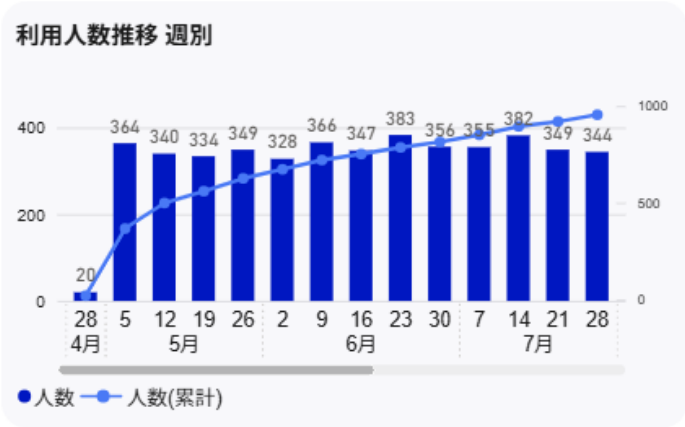
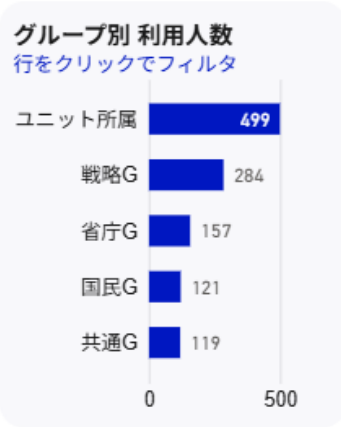
☐ 文章生成

☐ 要約

☐ 校正

☐ 翻訳

☐ ウェブコンテンツ抽出



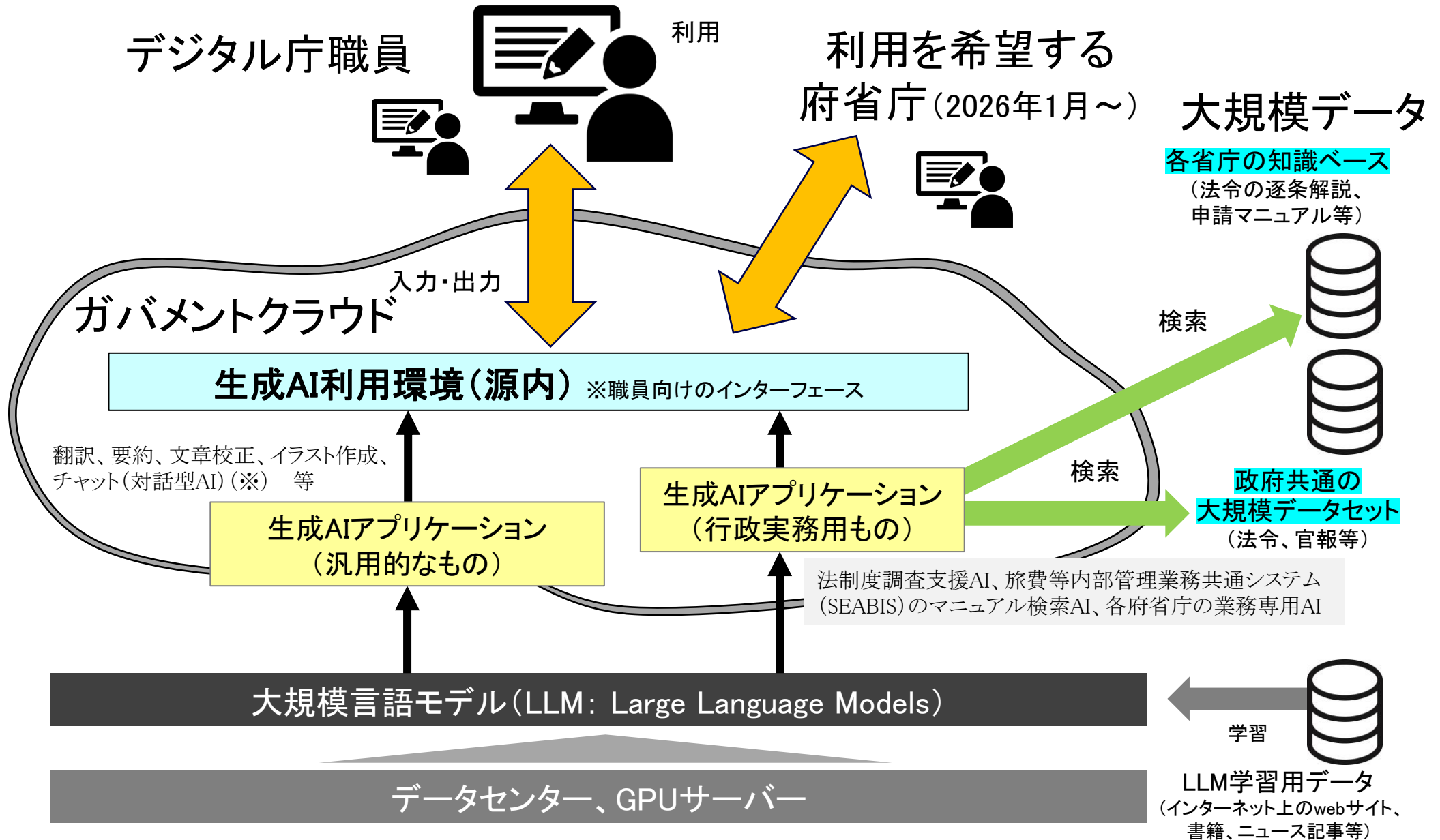
グループ×ユースケース別 利用回数 (利用回数,人数一定以下は非表示)

行をクリックでフィルタ

グループ	ユースケース	利用回数	(一人当たり)
ユニット所属	チャット	36,679	87.1
戦略G	チャット	12,028	57.8
国民G	チャット	7,875	84.7
ユニット所属	調べ物や手元資料の読解を...	6,476	24.8
省庁G	チャット	5,973	53.3
共通G	チャット	3,927	44.1
ユニット所属	ユースケースを作る	3,914	35.3
ユニット所属	翻訳	3,249	30.4
戦略G	調べ物や手元資料の読解を...	3,031	22.8
戦略G	翻訳	2,292	25.2

(※) 「ユニット所属」とは、デジタル領域に専門性を有する民間専門人材等（行政官以外）のデジタル庁職員が属するもの

デジタル庁全職員が利用できる生成AIの利用環境（源内）



※ 2025年8月時点ではAWS社の「Nova Lite」、Anthropic社の「Claude3 Haiku、Claude3.5 Sonnet」の3モデルから職員が選択可能